

用語解説

【 ア 行 】

○ アシストスーツ

個人の身体能力の補助又は増強を行うことによって、必要な動作をするために使用者を物理的に支援するロボット。

○ インランドデポ

港湾、空港以外の内陸部にある貿易貨物輸送基地。貨物の集配、通関業務、保管等が行われる。多くの貿易貨物がコンテナ化されている現在、主としてコンテナの集配、コンテナへの荷詰め・取り出し、空コンテナの一時保管等が行われる。

【 カ 行 】

○ 貨客混載

貨物と旅客を同じ車両で輸送すること。公共交通機関の活用により、貨物輸送の効率化等が期待される。

○ コンテナラウンドコース

輸入時に使用したコンテナを港頭地区における船社が指定する場所へ返却せず、輸出時に再利用する方法。輸送コストの低減とCO 排出削減が期待される。

【 サ 行 】

○ ストック効果

整備された社会資本が機能することで、整備直後から継続的かつ中長期にわたって得られる効果。

○ ストックマネジメント

既存のインフラ（ストック）について、施設等の機能診断に基づく機能保全対策を通じて、有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するための技術体系及び管理手法の総称。

○ 船舶管理会社

内航海運業者との船舶管理契約に基づき、「船員配乗・雇用管理」業務、「船舶保守管理」業務及び「船舶運航実施管理」業務の3つの業務を受託する会社。

【 タ 行 】

○ 隊列走行

複数のトラックを電子的に連結し、隊列を組んで走行させる技術。先頭車両の運転操作のみで複数の後続車両を運行することが可能となることから、輸送の効率化が期待される。

○ ダブル連結トラック

トラックとトレーラーを物理的に連結し、1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能なトラック。トラック輸送の省人化を促進する。

○ 小さな拠点

小学校区等複数の集落を包含する地域において、生活サービス機能や地域活動の拠点を歩いて動ける範囲に集め利便性を高めるとともに、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークでつなく地域の拠点。

○ デザイン・フォー・ロジスティクス

サプライチェーンマネジメントの最適化を図り、経済的な包装や、輸送に適した製品設計を行うという考え方。

○ 動的荷重計測装置（WIM）

走行中の車両の重量等を自動的に計測できる装置。Weight-In-Motionの略でWIMとも呼ばれる。

○ 特車許可

特殊車両通行許可制度。車両の構造が特殊である車両、あるいは積載する貨物が特殊な車両で、幅、長さ、高さ及び総重量のいずれかが一般的制限値を超える場合、道路管理者が通行を許可する制度。

○ トン数標準税制

対外船舶運航事業者が、「日本船舶・船員確保計画」を作成し、国土交通大臣の認定を受けた場合に、日本船舶等に係る利益について、船舶のトン数に応じたみなし利益課税の選択が可能となる制度。

【 八 行 】

○ プッシュ型の物資支援

国が被災都道府県からの具体的な要請を待たないで、避難所避難者への支援を中心に必要不可欠と見込まれる物資を調達し、被災地に物資を緊急輸送すること。

○ パリ協定

国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）において採択された 2020 年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み。今世紀後半に温室効果ガスの人為的な排出量と吸収源による除去量との均衡を達成することによって、地球の平均気温の上昇を 2 より十分下方に抑えるとともに、1.5 に抑える努力を追求することなどを目的としている。協定は 2016 年 11 月に発効し、我が国も締約国となっている。

○ フェリーヤード

フェリーターミナルの施設の一つで、フェリーに積み卸しするシャーシ等を蔵置する場所。

○ ベリースペース

旅客機等の床下に設けられた貨物を積み込むスペース。旅客機で貨物輸送を実施する場合、乗客の手荷物と併せて、貨物もこのスペースに積み込まれる。

【 ヤ 行 】

○ ユニットロード

複数の貨物を、機械や器具によって荷役を行ったり、輸送をするのに適した単位にまとめたもの。代表的なものにパレタイズ貨物やコンテナ貨物等がある。

○ ユニットロードターミナル

物流の迅速性・効率性を向上させるため、貨物をシャーシやコンテナ等にまとめて（ユニット化）積み卸しする輸送体系に対応したターミナル。

【 ラ 行 】

○ ラストマイル

輸送過程における末端部分の輸送のこと。宅配便では最寄りの集配センター等から個人宅まで、災害時の支援物資輸送においては地域内輸送拠点等から各避難所までの末端輸送を指す。

○ 流通加工

品物の流通過程において、顧客の要望に応じて検品、値札付け、包装などを行う加工作業。

【 英 数 字 】

○ AEO（Authorized Economic Operator）制度

国際貿易におけるセキュリティ確保と円滑化の両立を図るため、貨物のセキュリティ管理を含む法令遵守の体制が整備された事業者（輸出者、輸入者、倉庫業者、通関業者、運送者、製造者）に対して、税関長があらかじめ承認又は認定を行い、当該事業者が迅速化・簡素化された税関手続を利用することを認める制度。

○ AI (Artificial Intelligence)

「人工知能」とも訳され、知的な機械、特に、知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術のことをさす。

○ BCP (Business Continuity Plan)

事業継続計画の略称。災害時に特定された重要業務が中断しないこと、また万一事業活動が中断した場合に目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェアの低下、企業評価の低下などから企業を守るための経営戦略。

○ BD (Big Data)

ビッグデータの略称。利用者が急激に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれたGPS(全地球測位システム)から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、ボリュームが膨大であると共に、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群。

CRE (Corporate Real Estate) 戦略

企業不動産戦略の略称。CRE について、「企業価値向上」の観点から、経営戦略的視点に立って見直しを行い、不動産の価値を最大限引き出すことで、生産性の向上を図ろうとする考え方。

○ ETC (Electronic Toll Collection System) 2.0

従来の自動料金収受だけでなく、渋滞回避や安全運転支援等の情報提供サービスに加え、路側機を通して収集される経路情報を活用した新たなサービスを受けられるシステム。

HCFC (HydroChloroFluoroCarbon)

ハイドロクロロフルオロカーボンの略称。他のフロン類に比べるとオゾン層破壊効果が比較的小さいことから広く普及してきたが、オゾン層破壊効果が依然としてあることから、モントリオール議定書において全廃の対象として定められている。

HFC (HydroFluoroCarbon)

ハイドロフルオロカーボンの略称。オゾン層破壊効果が全くないことからH C F Cなどの代替品として普及しているが、温室効果が大きいことから、2016年のモントリオール議定書改正において新たに削減対象となった。

○ ICT (Information and Communication Technology)

情報通信技術の略称。

○ IoT (Internet Of Things)

「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。

○ KPI (Key Performance Indicator)

重要業績評価指標の略称。組織の目標を達成するために重要な業績評価の指標を指す。

○ KS/RA (Known Shipper / Regulated Agent) 制度

航空機に搭載する航空貨物について、ICAO国際標準等に基づき、高いセキュリティ・レベルを維持しつつ、物流の円滑化を図るため、荷主から航空機搭載まで一貫して航空貨物を保護する制度。この制度において、航空貨物等について適切な保安対策を講じていると認められた特定航空貨物利用運送事業者等 (RA : 国が認定) 及び特定荷主 (KS : RAが認定) が一貫して貨物を航空運送事業者に搬入する場合、KSが爆発物検査を行い出荷した貨物は、その後爆発物検査を受けることなく航空機に搭載することが認められている。

○ NACCS (Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System)

輸出入・港湾関連情報処理システムの略称。税関手続全般に加え、輸出入に関連する食品衛生・動植物検疫手続、貿易管理手続及び港湾・空港に関連する入出港手続等の行政手続並びに輸送、保管等の輸出入に関連する民間業務を電子的に処理する官民共用システム。

○ NO_x

窒素酸化物の総称。燃料を高温で燃やすことで発生し、大気汚染を引き起こす。光化学スモッグや酸性雨の原因となるほか、地球温暖化の要因にもなる。

○ RFID (Radio Frequency Identifier)

誘導電磁界または電波によって、非接触で半導体メモリのデータを読み出し、書き込みのために近距離通信を行うものの総称。無線を利用した自動認識技術の1つ。

○ RORO (Roll-on/Roll-off) 船

貨物をトラック、トレーラに積載したまま岸壁から船舶に積み込み、又は船舶から岸壁に積み卸す荷役が可能な船舶。

○ SO_x

硫酸酸化物の総称。石油や石炭などの化石燃料が燃焼する際に発生し、大気汚染を引き起こす。気管支炎やぜん息の原因となるほか、酸性雨の原因にもなる。